

宇宙事業への関わりを本気で考えてみる！



今年4月、宇宙ベンチャーの iSpace(アイスペース)が株式上場しました。初値は公開価格の3倍まで上がりましたが、直後の月面着陸に失敗してストップ安。短時間のうちに、投資家の期待と失望、宇宙事業の夢と現実があらわになりました。

とは言え、米国ではイーロン・マスク氏率いるスペース X 社が次々とロケットを打ち上げ、日本でも経産省による「宇宙基本計画(令和2年)」で、民間企業・ベンチャー企業の積極活用がうたわれています。国家主導、軍需主導一辺倒だった宇宙活動が転換点を迎え、多様なプレーヤーによる宇宙関連市場が輪郭を見せ始めました。これからの産業全体のけん引役になる可能性も見据えつつ、今回の勉強会は、私たちと宇宙事業の接点を考える場にしたいと思います。

基礎となる情報源は、iSpace 社の株式公開時の目論見書。財務構造やビジネスモデルから、同社の宇宙ビジネスにおける競争力を探ります。また、同社以外にもさまざまな企業が、宇宙旅行などの新サービスや、宇宙環境での利用を前提とした新製品を投入しています。コンセプト段階のものも含めて代表的なものを概観し、宇宙ビジネスへの参入機会や関係づくりを考えます。

また、米国のアポロ計画に代表される宇宙探索の歴史を辿り、突出した個人の思いや独創性が重要なブレイクスルーをもたらしたことを確認します。そのようなイノベーションの先行イメージとして、宇宙探索では小説・映画といったフィクションが重要な役割を果たしています。最近の作品に対する物理学者の解説をもとに、未来の宇宙事業を妄想したいと思います(参考:『物理学者、SF 映画にハマる』高水 裕一、2021年、光文社新書)。

さらに、宇宙飛行士の選抜試験の内容を共有し、ビジネスパーソンにも求められるスキル・能力や、人材育成方法などについて議論します。

ヒト・モノ・カネ／サイエンス／フィクションなどの多様な観点から、一般企業の(座長を含め、宇宙とは縁遠い企業の)宇宙事業への関わり方を考えてみたいと思います。

日時 2023年7月15日(土) 14時 ~ 17時20分
(終了後、リアル参加者の有志で懇親会を予定しています)
場所 リアル会場: 若杉大阪駅前ビル7階会議室
オンライン: 前日までに zoom の URL を配信します
人数 20名程度
会費 3,000円(リアル参加/オンライン参加同額)
※Paypal でのお支払いをお願いします
お申込み <http://www.zeta-consulting.jp/>
主催 ゼータコンサルティング株式会社

